

# 2018年 3月期 決算説明会



株式会社エフピコ  
2018年 5月7日

# 本資料取扱のご注意

本説明会のプレゼンテーションおよび配布資料に掲載する情報に関しまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本説明会の配布資料に掲載する情報は、**無断での引用や転載、複製は禁じられております。**

# =目次=

◆ <u>実績及び計画</u>	専務取締役経理財務本部長	池上 功	.....	4
◆ <u>企業価値拡大に向けて</u>	代表取締役社長	佐藤 守正	.....	14
◆ 添付資料			.....	38

# 2018年3月期 実績

---

専務取締役 経理財務本部長  
池上 功



# 決算概要 (2018年3月期 実績)

単位: 百万円	通期 実績							通期 期初計画			通期 修正計画		
	2017年3月期		2018年3月期					2018年3月期			2018年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	増減	前年比	数量	計画	構成比	計画比	計画	構成比	計画比
トレー	29,303	17.0	29,964	17.3	+661	102.3%	99.9%	29,700	16.6	100.9%	29,800	17.1	100.6%
弁当・惣菜	95,401	55.2	96,287	55.5	+886	100.9%	101.1%	100,100	55.9	96.2%	96,600	55.5	99.7%
小計	124,704	72.1	126,252	72.7	+1,547	101.2%	100.7%	129,800	72.5	97.3%	126,400	72.6	99.9%
その他製品	3,220	1.9	3,314	1.9	+94	102.9%		3,200	1.8	103.6%	3,200	1.8	103.6%
製品売上高	127,924	74.0	129,566	74.6	+1,642	101.3%		133,000	74.3	97.4%	129,600	74.5	100.0%
包装資材	36,335	21.0	37,293	21.5	+957	102.6%		37,800	21.1	98.7%	37,600	21.6	99.2%
その他商品	8,598	5.0	6,720	3.9	△1,877	78.2%		8,200	4.6	82.0%	6,800	3.9	98.8%
商品売上高	44,933	26.0	44,014	25.4	△919	98.0%		46,000	25.7	95.7%	44,400	25.5	99.1%
売上高	172,858	100.0	173,580	100.0	+722	100.4%		179,000	100.0	97.0%	174,000	100.0	99.8%
営業利益	15,176	8.8	12,884	7.4	△2,291	84.9%		15,900	8.9	81.0%	12,830	7.4	100.4%
経常利益	15,742	9.1	13,548	7.8	△2,193	86.1%		16,500	9.2	82.1%	13,500	7.8	100.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,953	6.3	9,178	5.3	△1,775	83.8%		11,150	6.2	82.3%	9,100	5.2	100.9%
償却前経常利益	26,926		25,255		△1,670	93.8%		28,600		88.3%	25,600		98.7%

**計画差異要因**

製品  
 ・値上げ幅の縮小とタイムラグ  
 ・天候不順等による販売鈍化

商品  
 ・不採算取引見直し

**前年差異要因**

製品 コンビニ別注品  
 △4億円(△0.3%)

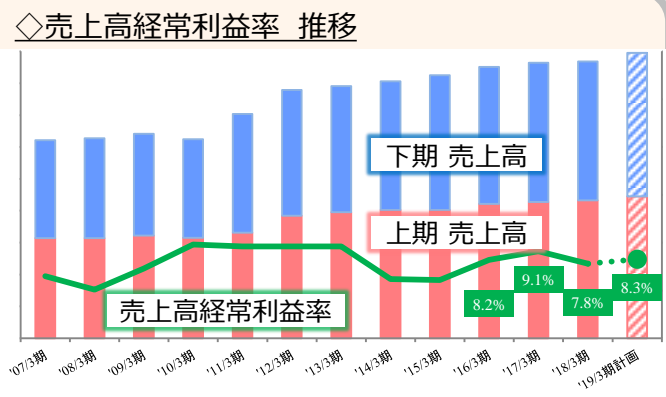
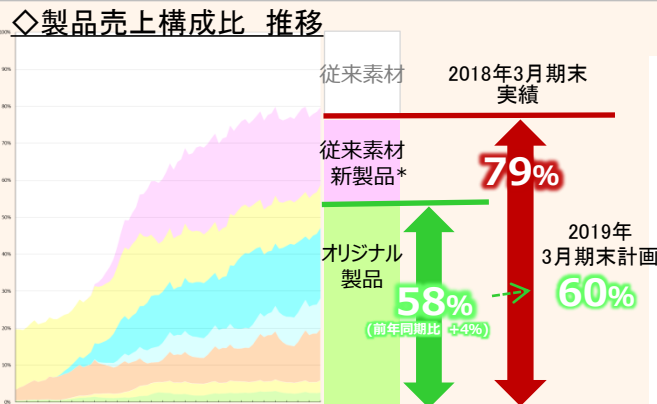
商品 不採算取引見直し  
 △26億円(△5.9%)

合計 △30億円(△1.7%)

※2018年3月期より売上高区分を一部変更

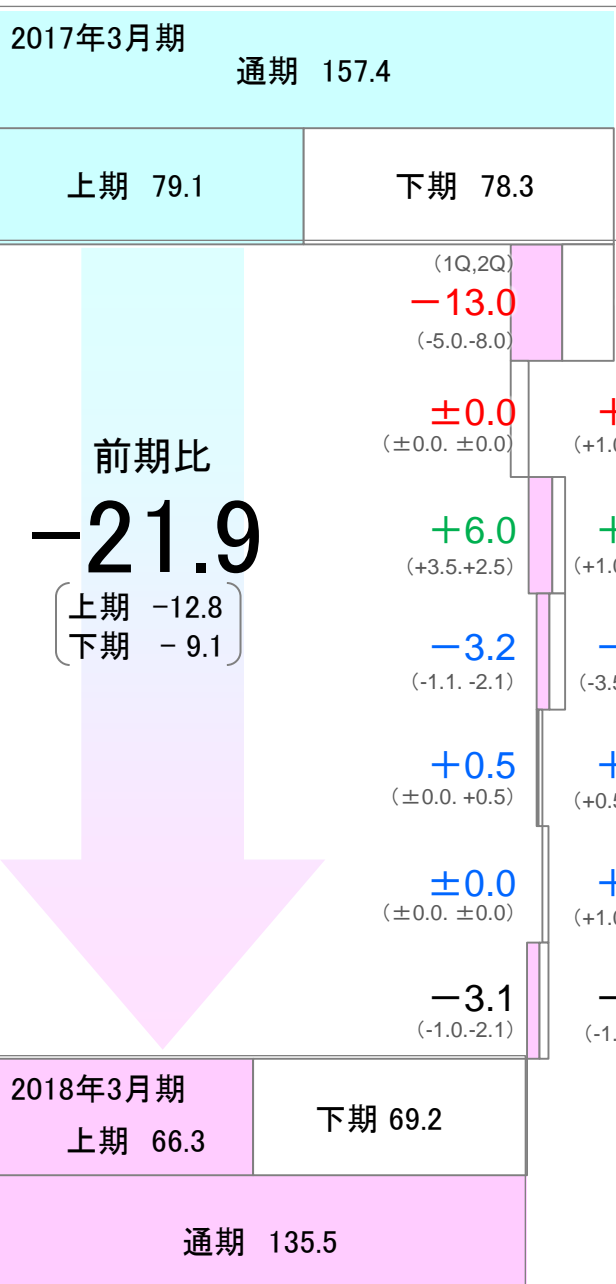
## ■ 販売

- 製品>**
- ・電子レンジ対応製品の販売は順調
  - ・魚価高騰に伴う鮮魚部門容器の販売鈍化
  - ・スーパーマーケット向けは堅調
  - ・コンビニエンスストア向けの前年ハードル高さ
- 商品>**
- ・MD商品の拡大強化
  - ・不採算取引の見直し



# 経常利益 利益増減 (2018年3月期 実績)

単位: 億円



原料価格 **-26.0** **-21.5**

販売価格 **+4.5**

販売活動 **+9.2**

生産 **-7.2** **-4.2**

物流 **+1.5**

グループ会社 **+1.5**

経費増減 **-5.4**

改善効果 +8.0  
人件費・労務費 -4.4  
減価償却費 -4.2  
電力料 -3.6

人件費 +0.3  
減価償却費 -1.0  
その他 -4.7

見通しとの差異					
2/6時点 見通し	差異	11/13時点 見通し	差異	期初 計画	差異
-26.0	<b>±0.0</b>	-17.0	<b>-9.0</b>	-27.0	<b>+1.0</b>
+3.0	<b>+1.5</b>	+9.0	<b>-4.5</b>	+26.0	<b>-21.5</b>
+10.7	<b>-1.5</b>	+20.7	<b>-11.5</b>	+16.0	<b>-6.8</b>
-7.7	<b>+0.5</b>	-2.7	<b>-4.5</b>	-5.5	<b>-1.7</b>
+1.5	<b>±0.0</b>	+1.5	<b>±0.0</b>	+1.5	<b>±0.0</b>
+1.5	<b>±0.0</b>	+1.5	<b>±0.0</b>	+2.0	<b>-0.5</b>
-5.4	<b>±0.0</b>	-5.4	<b>±0.0</b>	-5.4	<b>±0.0</b>

経常利益見通し 135億円 165億円 165億円

# 設備投資・研究開発費

(2018年3月期 実績)

単位:百万円	通期 実績				通期 計画	
	2017年3月期 実績	2018年3月期			2018年3月期	
		実績	増減	前年比	計画	計画比
有形固定資産	20,790	29,342	+8,551	141.1%	30,800	95.3%
無形固定資産	269	549	+280	204.1%	400	137.5%
<b>設備投資</b>	<b>21,060</b>	<b>29,891</b>	<b>+8,831</b>	<b>141.9%</b>	<b>31,200</b>	<b>95.8%</b>
減価償却費	11,183	11,706	+522	104.7%	12,100	96.7%
研究開発費	1,223	1,197	△26	97.9%	1,260	95.0%

## 【主な設備投資】

### 世界初のオリジナル製品生産に対する投資

	単位:百万円	投資総額	2018年3月期 計画	4Q累計実績
◆ 関東エコペット工場 エコAPET一貫製造設備の増設	2017年 8月 完成	15,451	13,500	13,254
◆ OPET製造設備の増設	2018年 3月		3,000	3,053

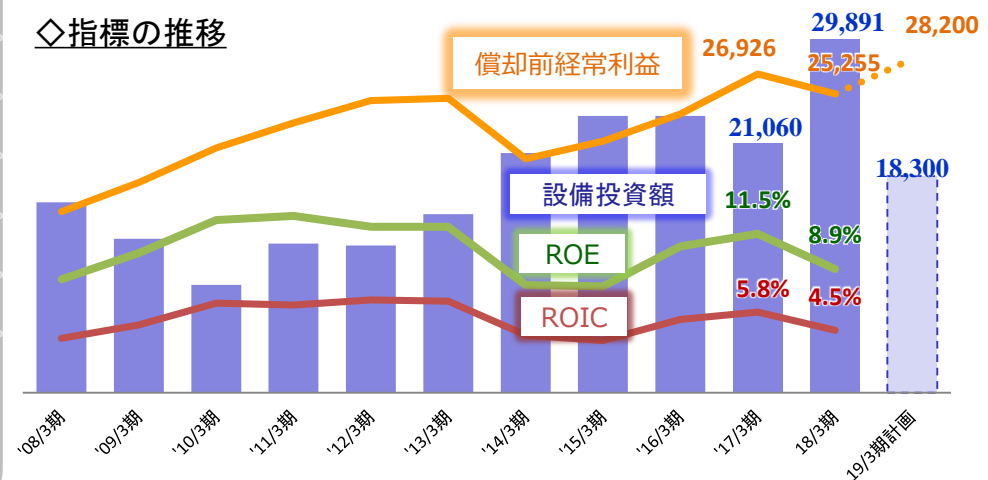
### 販売量拡大に対する投資

◆ 自動化設備の導入			630	456
◆ グループ会社生産拠点の増強				
フィルム工場	2018年 1月 完成	2,800	2,500	2,553
フィルム印刷工場	2018年 3月 完成	4,750	1,360	2,519
◆ 金型			2,210	1,485
◆ IT投資			600	636

⇒ 業界での圧倒的な優位性

高付加価値製品と物流インフラによる収益確保

## ◇指標の推移



※ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本

※ROIC = NOPAT (税引後営業利益) ÷ 投下資本 (純資産 + 有利子負債)

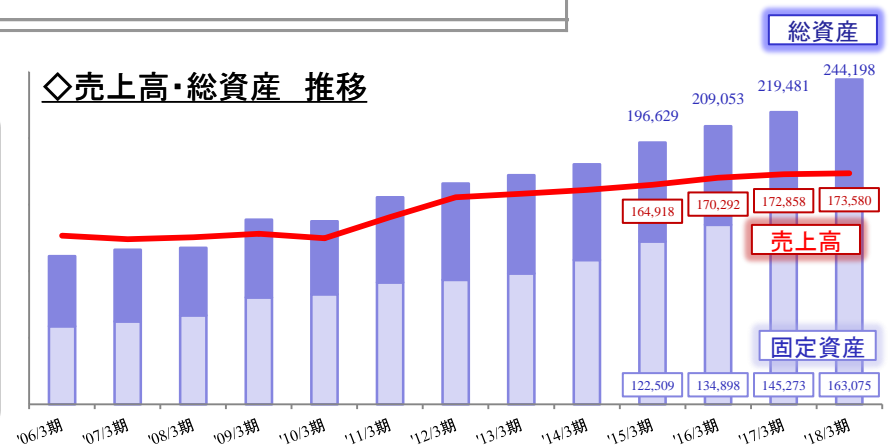
# 貸借対照表 (2018年3月期 実績)

単位: 百万円	前連結会計年度		当連結会計年度			
	2017年3月期 2017/3/31	2018/3/31	増減	2018年3月期 前年比	主な増減内訳	
流動資産	74,208	81,122	+6,914	109.3%	現金及び預金 受取手形及び売掛金 商品及び製品 未収入金	△2,492 +5,065 +1,971 +1,468
固定資産	145,273	163,075	+17,802	112.3%	有形固定資産	+17,705
資産合計	219,481	244,198	+24,717	111.3%		
流動負債	73,051	77,174	+4,123	105.6%	買掛金 短期借入金 コマーシャル・ペーパー 未払金	+2,623 △5,992 +3,000 +5,379
固定負債	46,707	60,804	+14,096	130.2%	長期借入金	+16,699
負債合計	119,759	137,979	+18,219	115.2%		
純資産合計	99,721	106,219	+6,497	106.5%	利益剰余金	+5,870
負債純資産合計	219,481	244,198	+24,717	111.3%		

自己資本比率 43.3%

- 資産 世界初のオリジナル製品の能力増強と安定供給への戦略投資
- 負債 戦略投資の原資として借入金の活用
- 純資産 経営体質の充実強化  
事業拡大に向けた機動的な対応への備え

◇売上高・総資産 推移



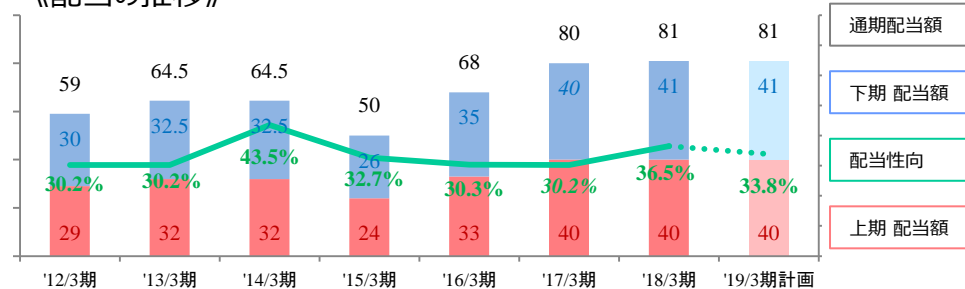
# キャッシュ・フロー

(2018年3月期 実績)

単位: 百万円	通期	
	2017年3月期 実績	2018年3月期 実績 主な内訳
営業活動によるC/F	25,912	13,974 税金等調整前当期利益 13,234 減価償却費 11,706 売上債権の増加 △ 5,065 仕入債務の増加 2,623 たな卸資産の増加 △ 2,813 法人税等の支払額 △ 4,421
投資活動によるC/F	△ 21,932	△ 23,656 有形固定資産の取得 △ 23,519
フリーキャッシュフロー	3,979	△ 9,682
財務活動によるC/F	△ 924	7,197 コマーシャル・ペーパーの純増 3,000 長期借入れによる収入 32,000 長期借入金の返済 △ 22,092 リース債務の返済 △ 3,206 配当金の支払額 △ 3,301
現金及び現金同等物の増減額	3,054	△ 2,485
現金及び現金同等物の期末残高	18,144	15,659

- 営業CF オリジナル製品販売と合理化による利益確保
- 投資CF 収益基盤構築に向けた戦略投資を実施
- 財務CF 戦略投資の原資として借入金が増加  
継続的に安定した配当の実施

《配当の推移》



# 2019年3月期 計画

---

# 決算計画概要 (2019年3月期 計画)

単位: 百万円	通期 実績		通期 計画				上期 計画			
	2018年3月期		2019年3月期				2019年3月期			
	実績	構成比	計画	構成比	増減	前年比	計画	構成比	増減	前年比
トレー	29,964	17.3	31,570	17.6	+1,605	105.4%	15,720	17.7	+871	105.9%
弁当・惣菜	96,287	55.5	100,670	56.2	+4,382	104.6%	49,880	56.0	+2,197	104.6%
小計	126,252	72.7	132,240	73.9	+5,987	104.7%	65,600	73.7	+3,068	104.9%
その他製品	3,314	1.9	3,410	1.9	+95	102.9%	1,720	1.9	+48	102.9%
製品売上高	129,566	74.6	135,650	75.8	+6,083	104.7%	67,320	75.6	+3,117	104.9%
包装資材	37,293	21.5	39,120	21.9	+1,826	104.9%	19,580	22.0	+1,005	105.4%
その他商品	6,720	3.9	4,230	2.4	△2,490	62.9%	2,100	2.4	△1,678	55.6%
商品売上高	44,014	25.4	43,350	24.2	△664	98.5%	21,680	24.4	△673	97.0%
売上高	173,580	100.0	179,000	100.0	+5,419	103.1%	89,000	100.0	+2,444	102.8%
営業利益	12,884	7.4	14,300	8.0	+1,415	111.0%	6,400	7.2	+112	101.8%
経常利益	13,548	7.8	14,800	8.3	+1,251	109.2%	6,650	7.5	+21	100.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	9,178	5.3	9,900	5.5	+721	107.9%	4,460	5.0	+38	100.9%
償却前経常利益	25,255		28,200		+2,944	111.7%	13,250		+943	107.7%

## ■ 販売

製品> 当社オリジナル製品及び新製品の売上構成比を高め、収益の安定化  
自動化およびIT・物流インフラ活用による省人化

出荷枚数 : 前年比104%の伸長

トレー容器 : リサイクル原料製品を中心に販売拡大

弁当・惣菜容器 : 耐寒・耐熱等の機能を備えたオリジナル製品を中心に、  
新機能容器・新デザイン容器の売上増加

商品> MD商品による収益性向上  
不採算取引の見直し

## ◇ 生産

関東エコペット工場の稼働により、エコAPETの生産能力強化  
産業用ロボット導入による省人化

## ◇ 物流

全国をフルカバーする物流ネットワークを最大限に活用  
音声ピッキングシステムによる作業生産性向上

## ◇ ESG

地上資源の循環および障がい者の雇用を推進

# 経常利益 利益増減 (2019年3月期 計画)

単位: 億円

2018年3月期

通期 135.5

上期 66.3

下期 69.2

前期比  
**+12.5**

上期 +0.2  
下期 +12.3

原料価格 **-26.0**

-14.0

-12.0

販売 **+48.0**

販売価格 (2/26発表 6/1より10%にて値上交渉中)  
MIX改善、数量伸長

+18.5

+29.5

生産 **-2.0**

-2.0

-0.5

-1.5

物流 **-1.0**

改善効果 +22.9  
人件費・労務費 -7.1  
減価償却費 -16.3  
電力料 -1.5

-1.0

±0.0

グループ会社 **+1.0**

値上含む

+0.5

+0.5

経費増減 **-7.5**

人件費 -3.4  
減価償却費 -0.7  
その他 -3.4

-3.3

-4.2

2019年3月期

上期見通し 66.5

下期見通し 81.5

通期見通し 148.0



# 設備投資・研究開発費 計画 (2019年3月期 計画)

	通期 実績	通期 計画			上期 計画		
	2018年3月期 実績	2019年3月期			2019年3月期		
単位:百万円	実績	計画	増減	前年比	計画	増減	前年比
有形固定資産	29,342	17,950	△11,392	61.2%	9,650	△6,311	165.4%
無形固定資産	549	350	△199	63.7%	50	△114	329.4%
設備投資	29,891	18,300	△11,591	61.2%	9,700	△6,425	166.2%
減価償却費	11,706	13,400	+1,693	114.5%	6,600	+922	86.0%
研究開発費	1,197	1,220	+22	101.9%	610	+29	95.2%

## 【主な設備投資】

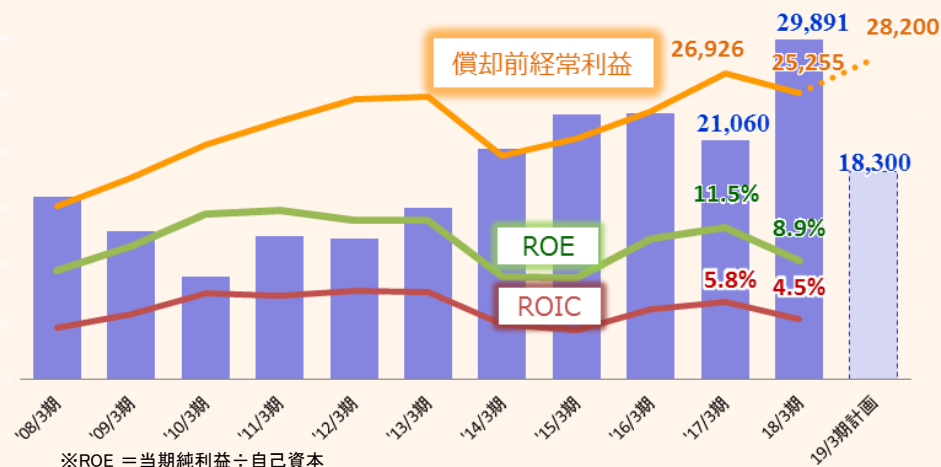
単位:百万円 投資総額 2019年3月期  
計画

世界初のオリジナル製品生産に対する投資

- ◆ OPET製造設備のエコ化

販売量拡大に対する投資

- ◆ 自動化設備の導入
- ◆ エコAPET生産工場(筑西) 2019年 秋 完成予定 4,000
- ◆ グループ会社拠点の整備・増強
- ◆ フィルム印刷工場 2018年 3月 完成 4,750
- ◆ リサイクルペレット生産設備
- ◆ 広島事務所兼倉庫 2018年 10月 完成予定 1,450
- ◆ エフピコインターパック本社新築 2019年 2月 完成予定 920
- ◆ 金型
- ◆ IT投資



※ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本  
 ※ROIC = NOPAT (税引後営業利益) ÷ 投下資本 (純資産 + 有利子負債)

# 企業価値拡大へ向けて

---

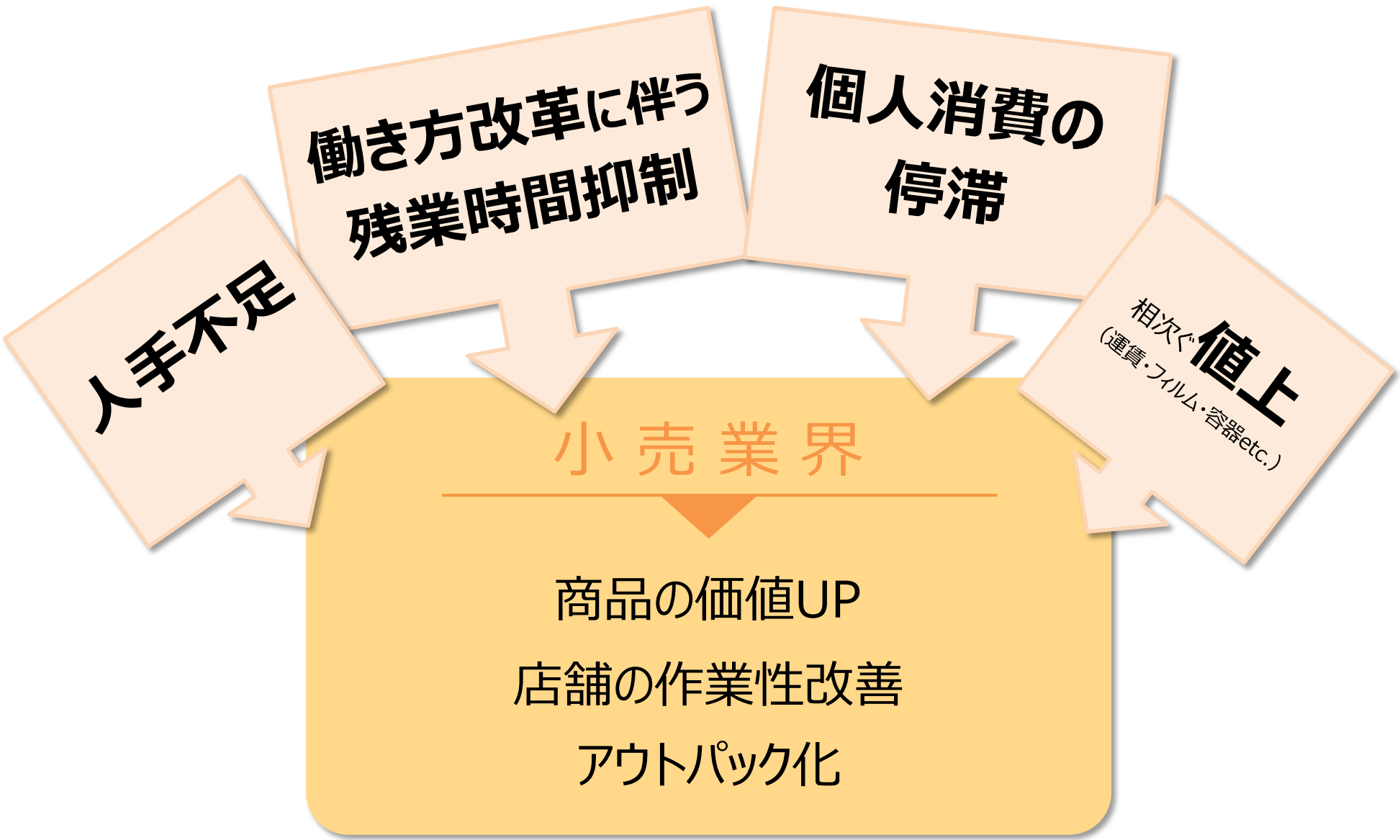
代表取締役社長

佐藤 守正



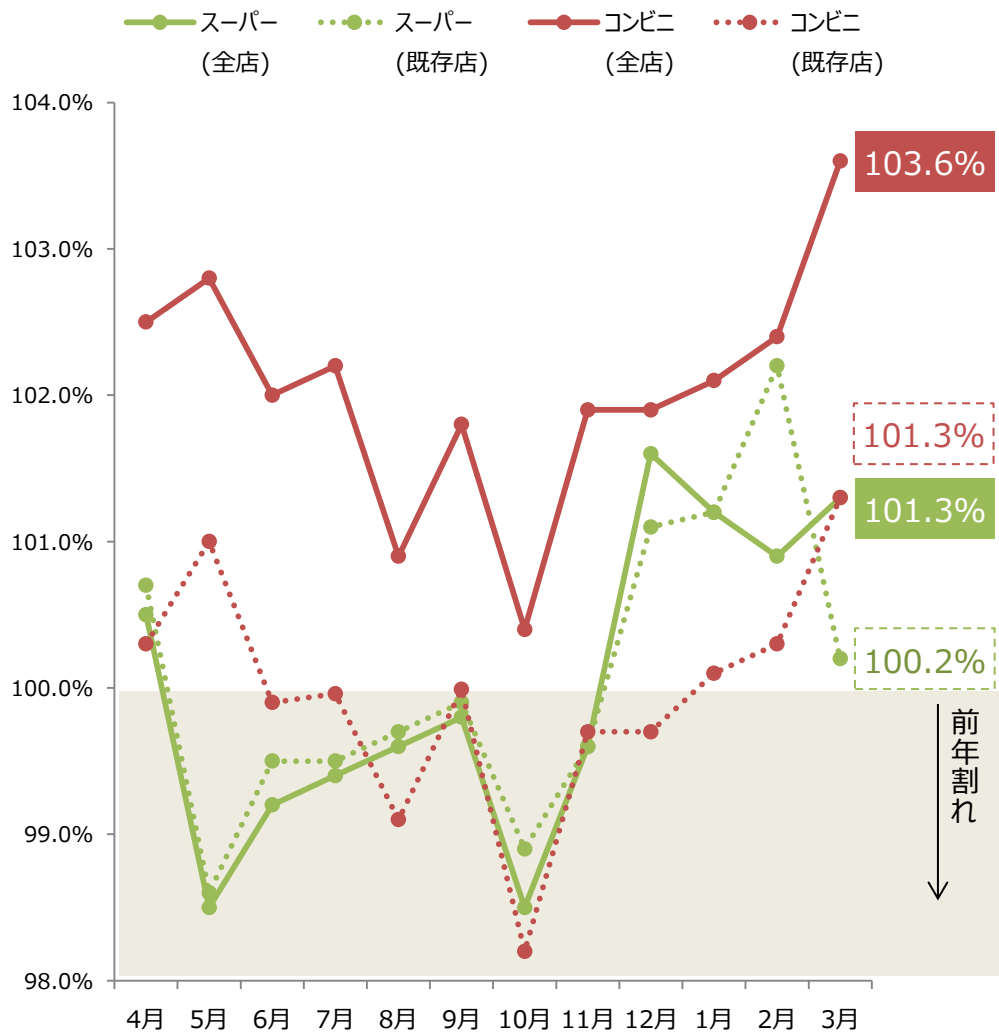
株式会社 **エフピコ**

# 小売業界を取り巻く状況

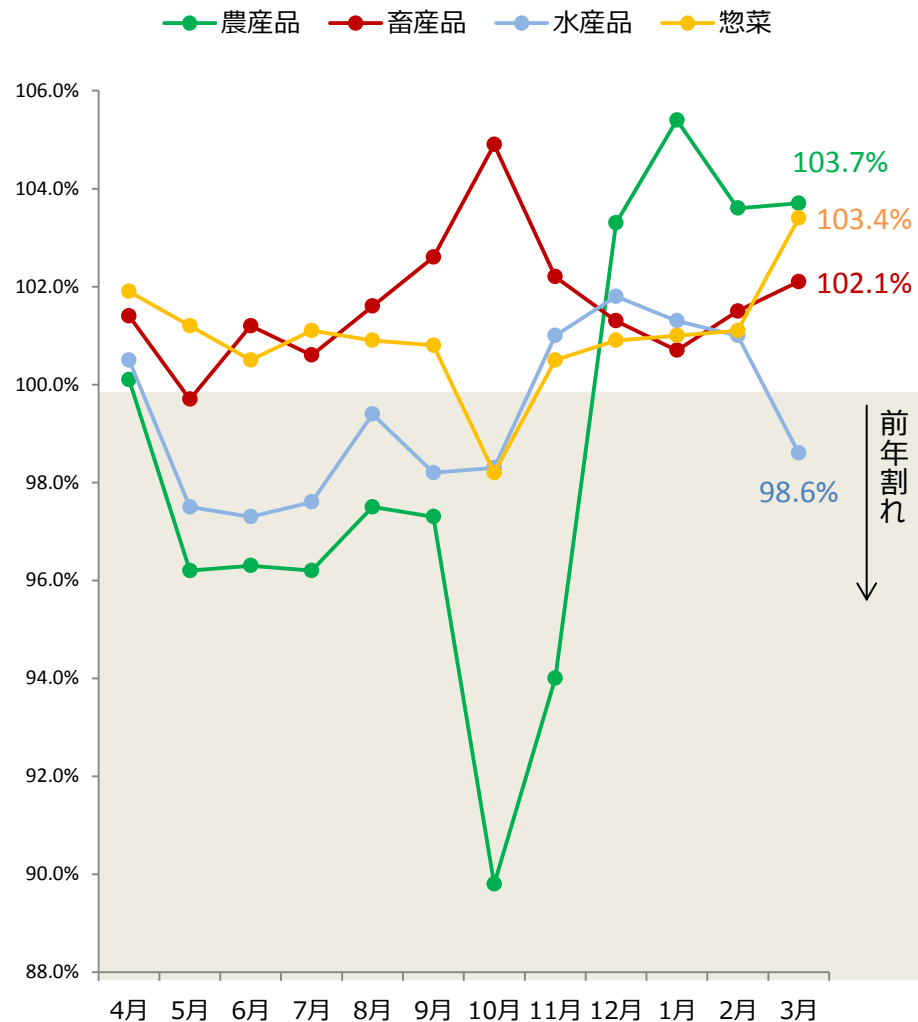


# コンビニエンスストア・スーパーマーケットの状況

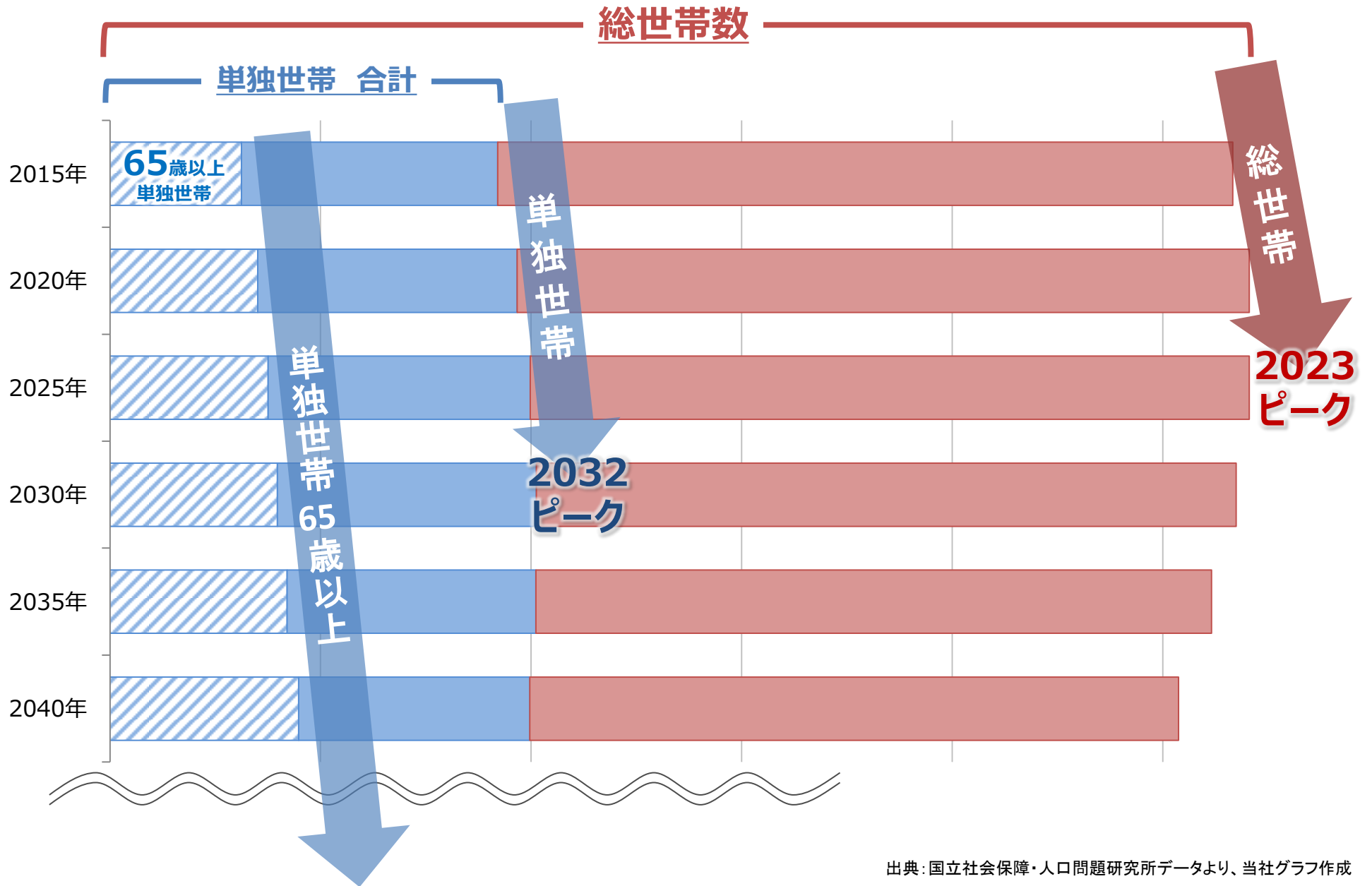
## コンビニ・スーパー 売上 前年対比推移



## スーパー 売上 前年対比推移 内訳



# 世帯数の推移



## 外食

約**25兆円**

テイクアウト強化



## 内食

約**32兆円**

原体の販売 → サラダ・惣菜化



**中食**  
約**10兆円**

**大手食品**  
**メーカー**



## 今後の成長マーケット



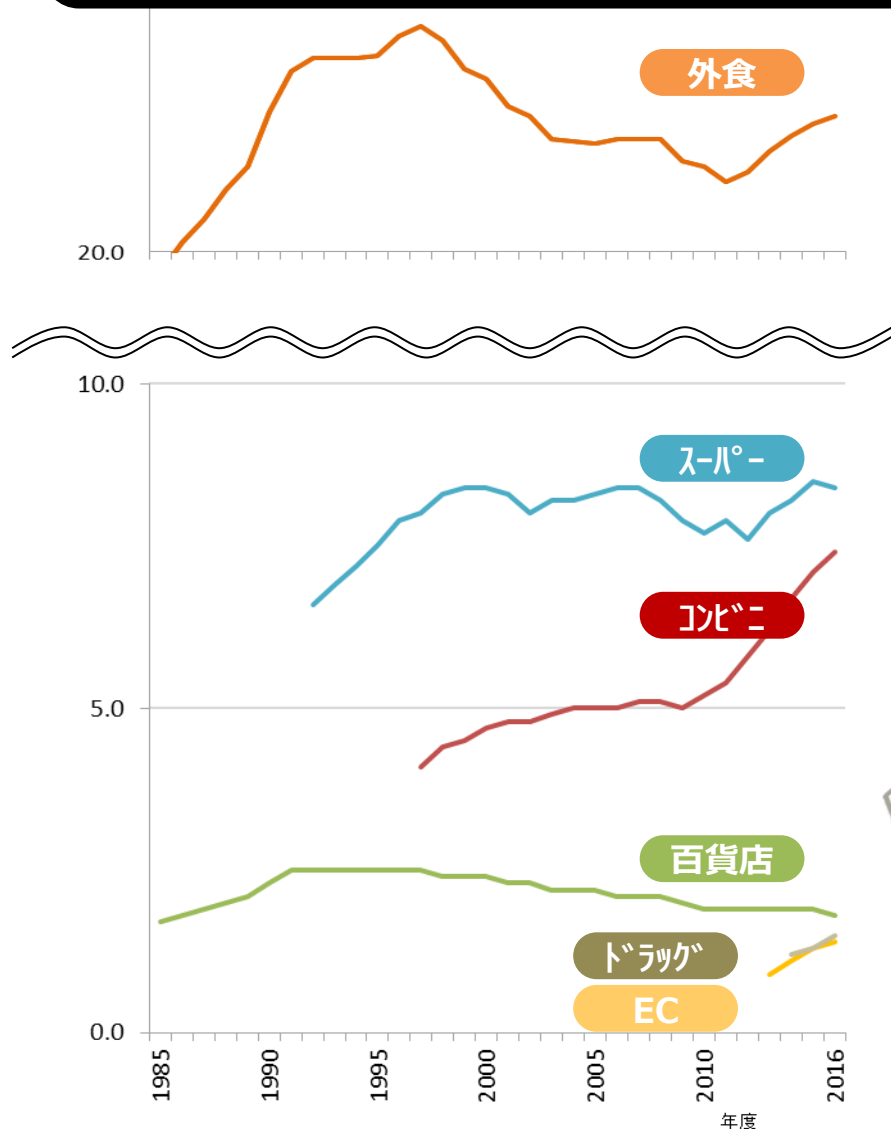
冷凍食品  
約7,200億円

通販・宅配  
約2兆円

包装資材  
約2兆円

# 小売業の変化

## 食品 市場規模推移



2016年度 市場規模

キーワード

外食

25.4兆円

テイクアウト強化

スーパー

8.4兆円

全体 12.9兆円

生鮮の惣菜化  
惣菜強化

コンビニ

7.4兆円

全体 11.5兆円

チルドコーナー拡充  
惣菜強化

百貨店

1.8兆円

全体 6.5兆円

売り場の差別化

ドラッグストア

1.5兆円

全体 5.7兆円

惣菜強化

EC

(電子商取引)

1.4兆円

全体 15.1兆円

ワンウェイ容器の  
市場拡大

成長見込

成長見込



# 生から惣菜の定着

2013年

「生から惣菜」スタート  
始まりは「カキ」



2014年～2015年

全国へ拡大  
さまざまなメニュー展開



2016年

冬のレンジメニューが定着  
売れるメニューが見えてきた



2017年以降

春夏向けメニュー開発



A社様事例) 「生から惣菜」1年間で**25**メニューを展開

「生から惣菜」容器出荷実績



プリマハム様) 春夏向け新商品を開発

人気メニュー





# 人手不足の時代だからこそ 働きやすい環境づくり

## MFPイノベシリーズ

組み合わせで簡単にメニューが増やせる



汁物

アウト  
パック

他部門

## シャトープラッターシリーズ

安心嵌合で面倒なテープ貼り作業が不要



## 枠盛シリーズ

誰が盛っても同じ見映え！



## 盛台シリーズ

ツマを減らして作業時間も短縮



## プラッター(内装付き)

工程が多いオードブルも作業分担





# 青果売り場の容器活用

前年比 **112%**

Before



After



蓋付き容器で  
ボリューム陳列

Before

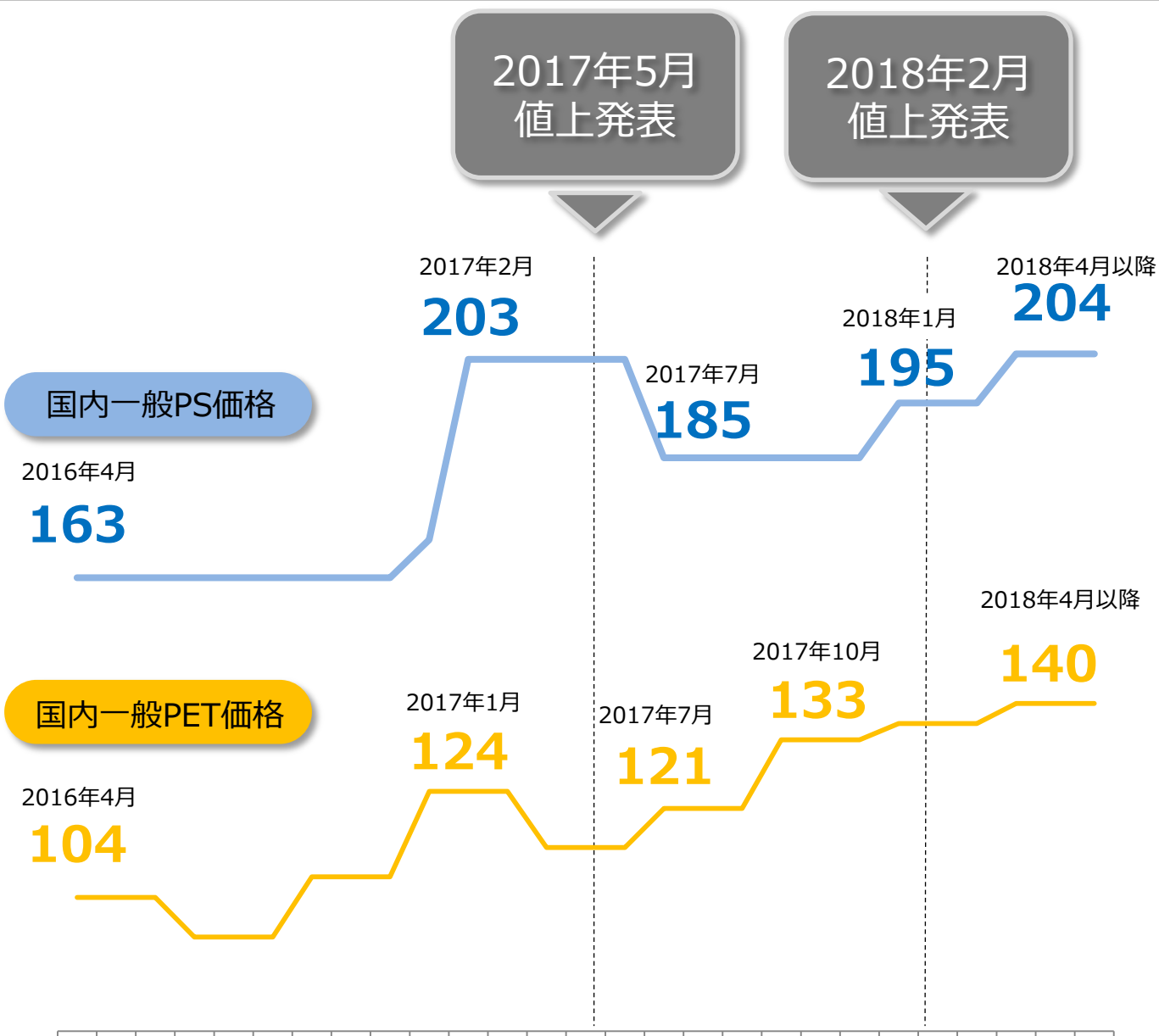


After

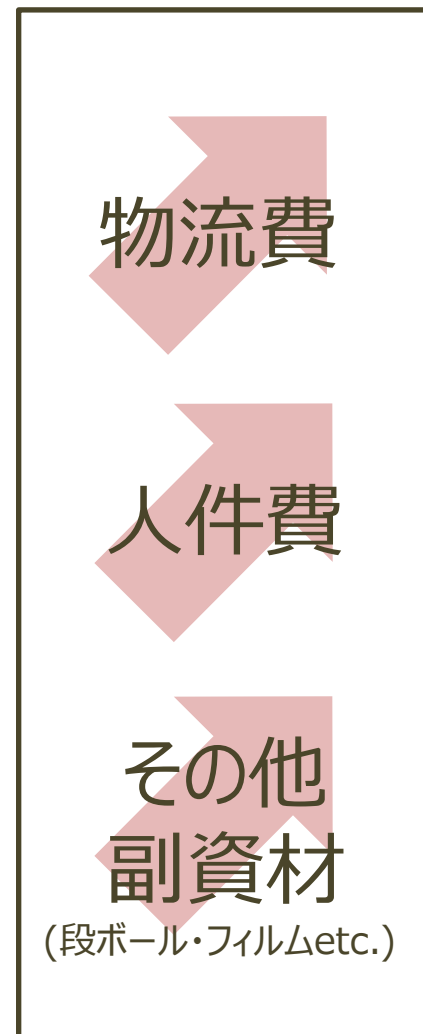


袋売りから  
容器へ

# 原料価格高騰



+



# 全国5万トンの再生PET原料供給能力

12 つくる責任  
つかう責任

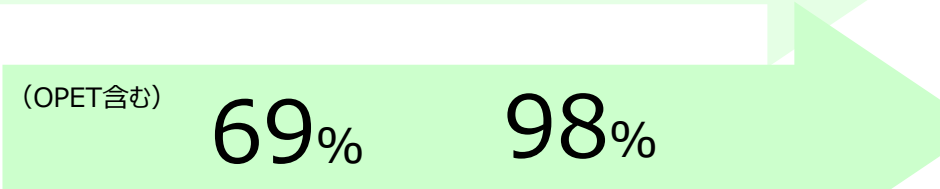
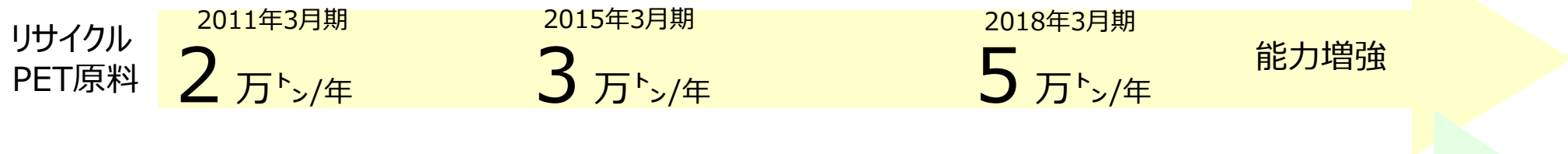


13 気候変動に  
具体的な対策を





所在地：茨城県結城郡八千代町  
 投資額：155億  
 延床面積：12,650坪



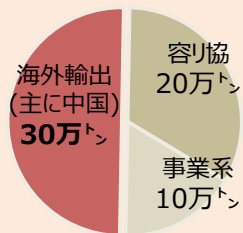
(第4四半期平均)

エコ



## 国内使用済みPETボトルの需給緩和

中国は2017年7月世界貿易機関(WTO)に対し、プラスチックなど一部廃棄物の輸入停止を通知



バージン



## 輸入PET樹脂への不当廉売課税

中国の不当廉売による課税処置  
2017年9月から関税率最大53.0%、最長5年の不当廉売課税を課す

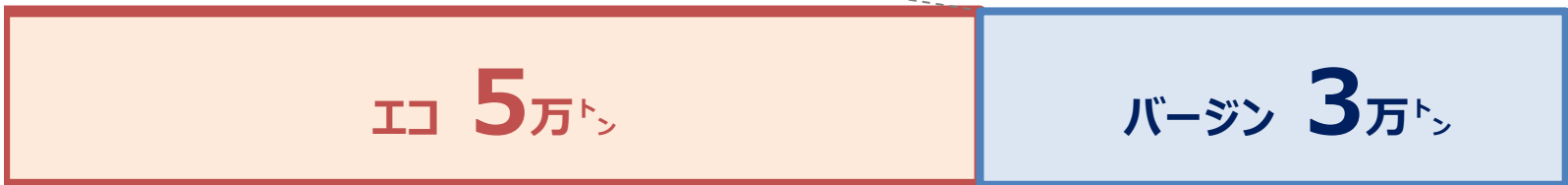
⇒ 業界各社 輸入元を中国から他アジア諸国へシフト

PET原料  
年間使用量

関東エコペット工場  
稼働前



関東エコペット工場  
稼働後



**8万トン**



# エコトレ・エコAPET CO2削減

エコトレ

CO2削減効果

エコAPET



# -30%

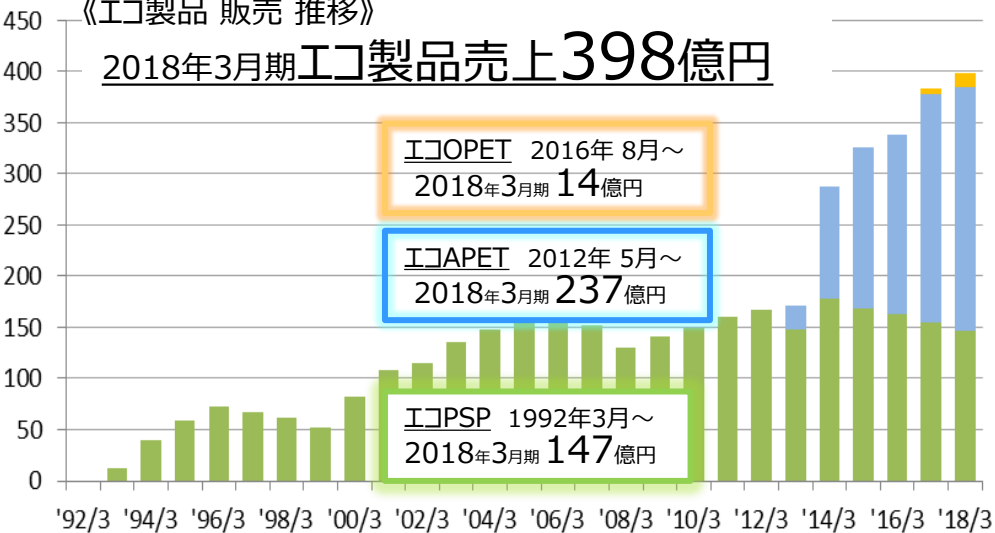
2018年3月期CO2排出量  
年間**11.3万t** 削減  
(エコトレ 3.7万t / エコAPET 7.0万t / エコPET 0.6万t)



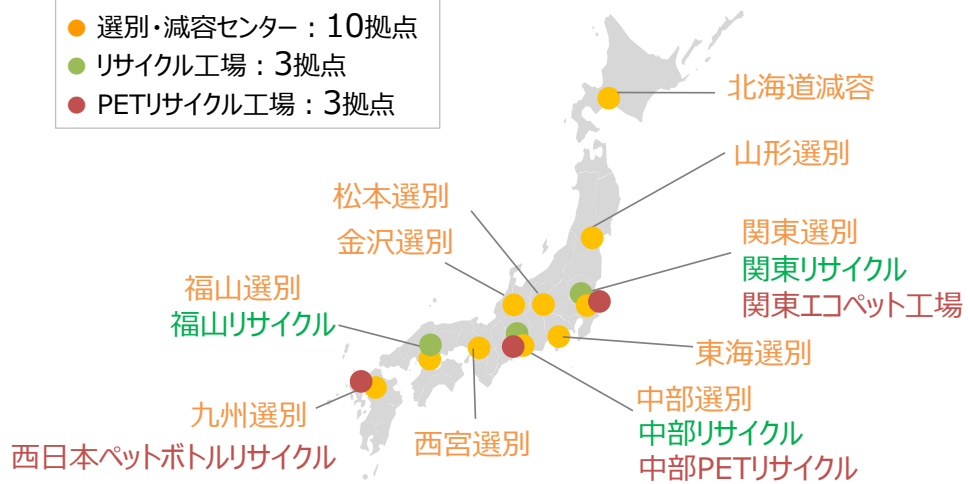
※当社バージン製品とエコ製品の比較（1kgあたり）

《エコ製品 販売 推移》

2018年3月期**エコ製品売上398億円**



- 選別・減容センター：10拠点
- リサイクル工場：3拠点
- PETリサイクル工場：3拠点



# 能力を最大限に活かしたダイバーシティ経営



## 選別センター **10**事業所

自社 7事業所  
事業請負 1事業所  
事業提携 2事業所



## 折箱容器組立・二次加工

**9**事業所

自社 8事業所  
業務請負 1事業所



## 容器製造(発泡・透明)

**3**事業所

2018年3月末時点エフピコグループ

障がい者雇用人数 : 377名  
障がい者雇用率換算数 : 649名  
障がい者雇用率 : 13.78%

■ 2017年9月 (東洋経済新報社)  
「障がい者雇用率ランキング」 4年連続1位

■ 2018年2月 (東京ボランティア・市民活動センター)  
第3回「企業ボランティア・アワード」受賞

2010年より障がい者とともに行うスポーツであるフロアホッケーに取組み、大会では選手として汗を流すだけでなく、運営スタッフとして100名を超える社員がボランティアで参加しています。



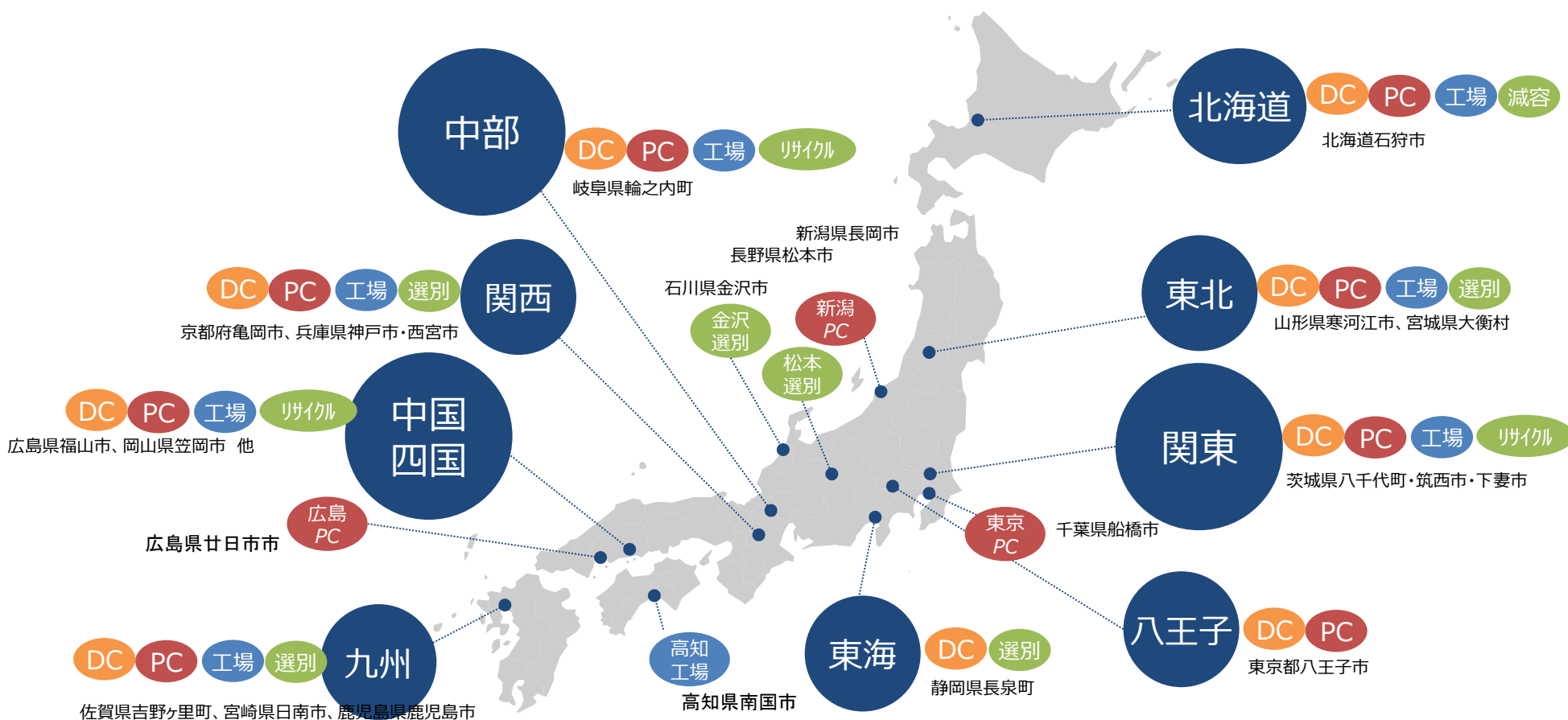




# 全国にある物流・生産拠点

物流費が **長距離・かさばる・重い**ものを中心に値上り

エピコは **各エリアで 生産・配送が可能**

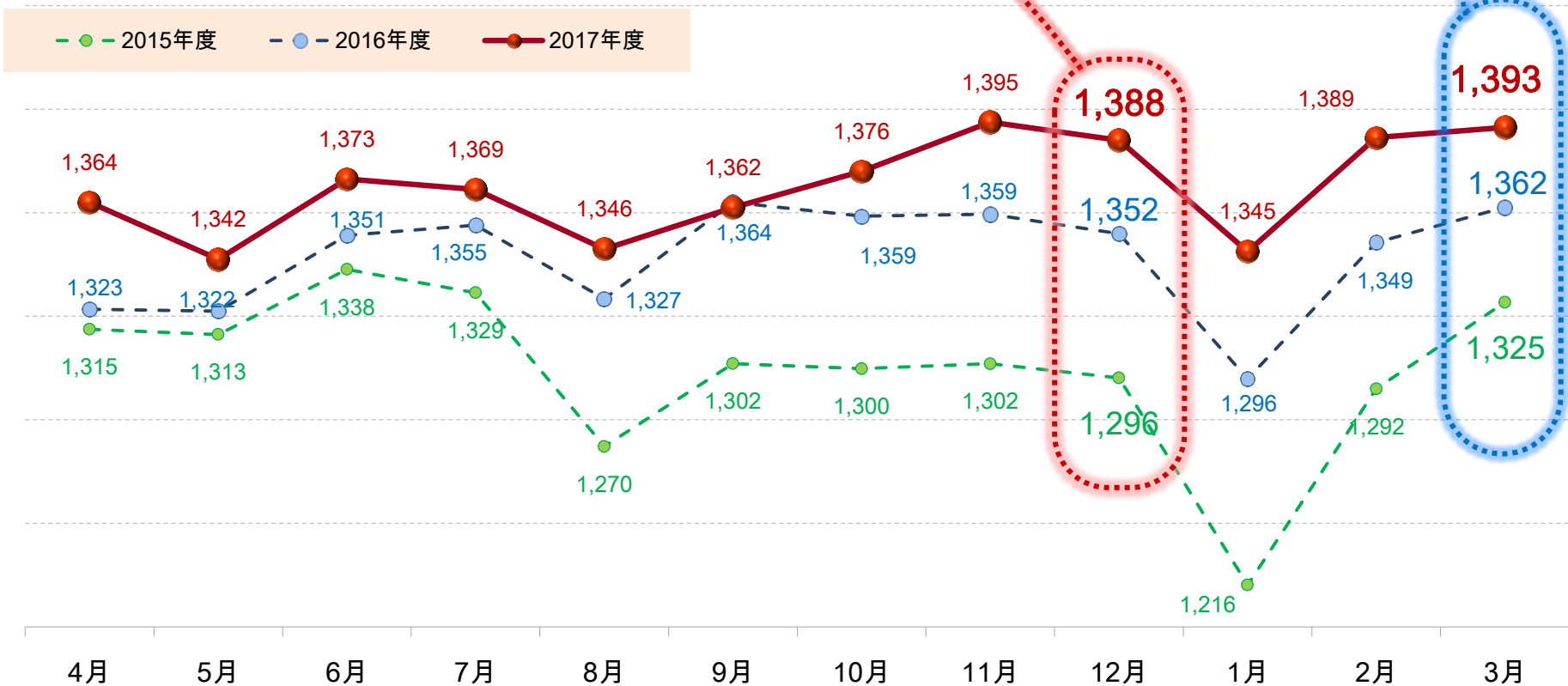


# ルートプランナーで配送ルートを最適化

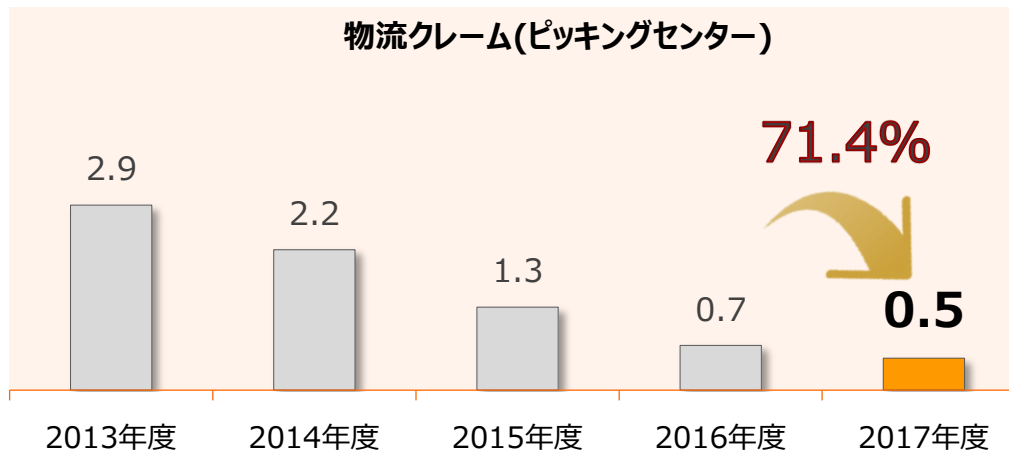
《販売配送・1台あたりの積載量(才数)の推移》

12月 2015年比で  
+13 ケース/台 (107.1%)  
繁忙期車両台数を抑制

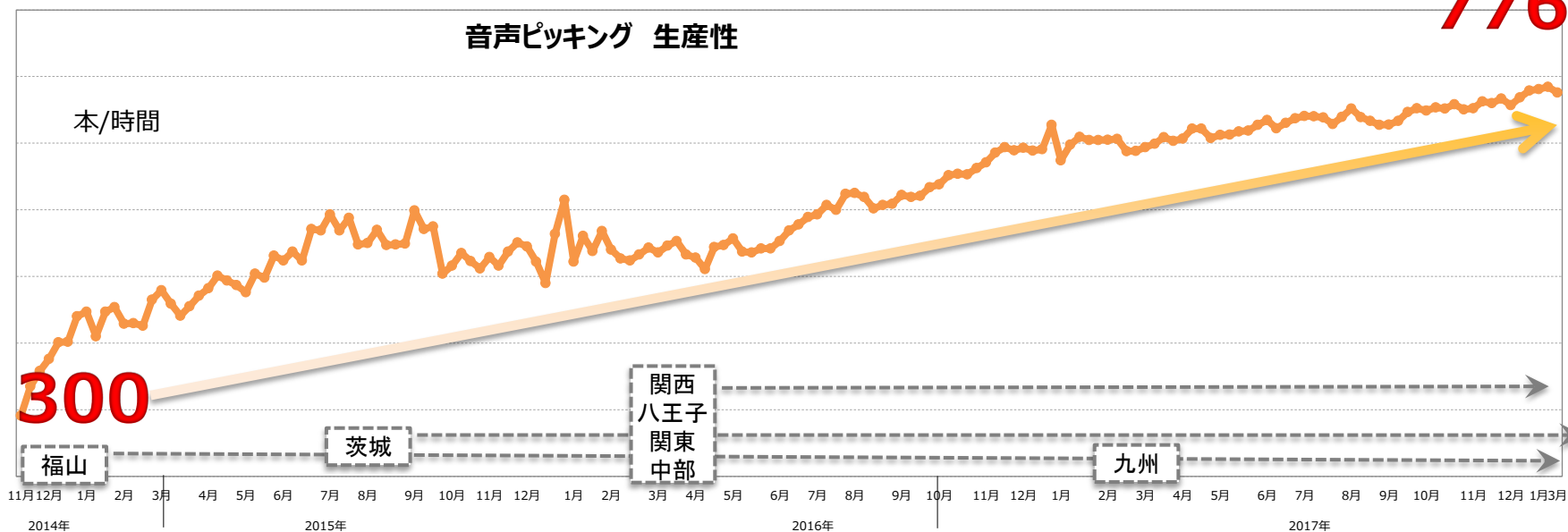
3月 2015年比で  
+10 ケース/台 (105.1%)



# 音声ピッキングシステムによる “作業効率”UP



時間当たり  
**776本**



# 自動化による“作業効率”UP



2018年3月期

約▲**94**名相当の合理化

効果 3億円/年

2019年3月期 計画

約▲**118**名相当の合理化

効果 4億円/年

自動除塵包装機



自動包装機



ケース梱包ロボット





# グループ会社 設備投資

## エピコアルライト(株)本社工場 (フィルム工場)



2018年1月 竣工  
所在地： 岡山県笠岡市  
投資額： 28 億  
延床面積： 3階建1,800坪

## エピコグラビア(株)本社工場 (フィルム印刷工場)



2018年3月 竣工  
所在地： 岡山県浅口市  
投資額： 47 億  
延床面積： 2階建2,900坪

## エピコ広島営業所、エピコイシダ(株)、 (株)アイ・ロジック 事務所兼倉庫



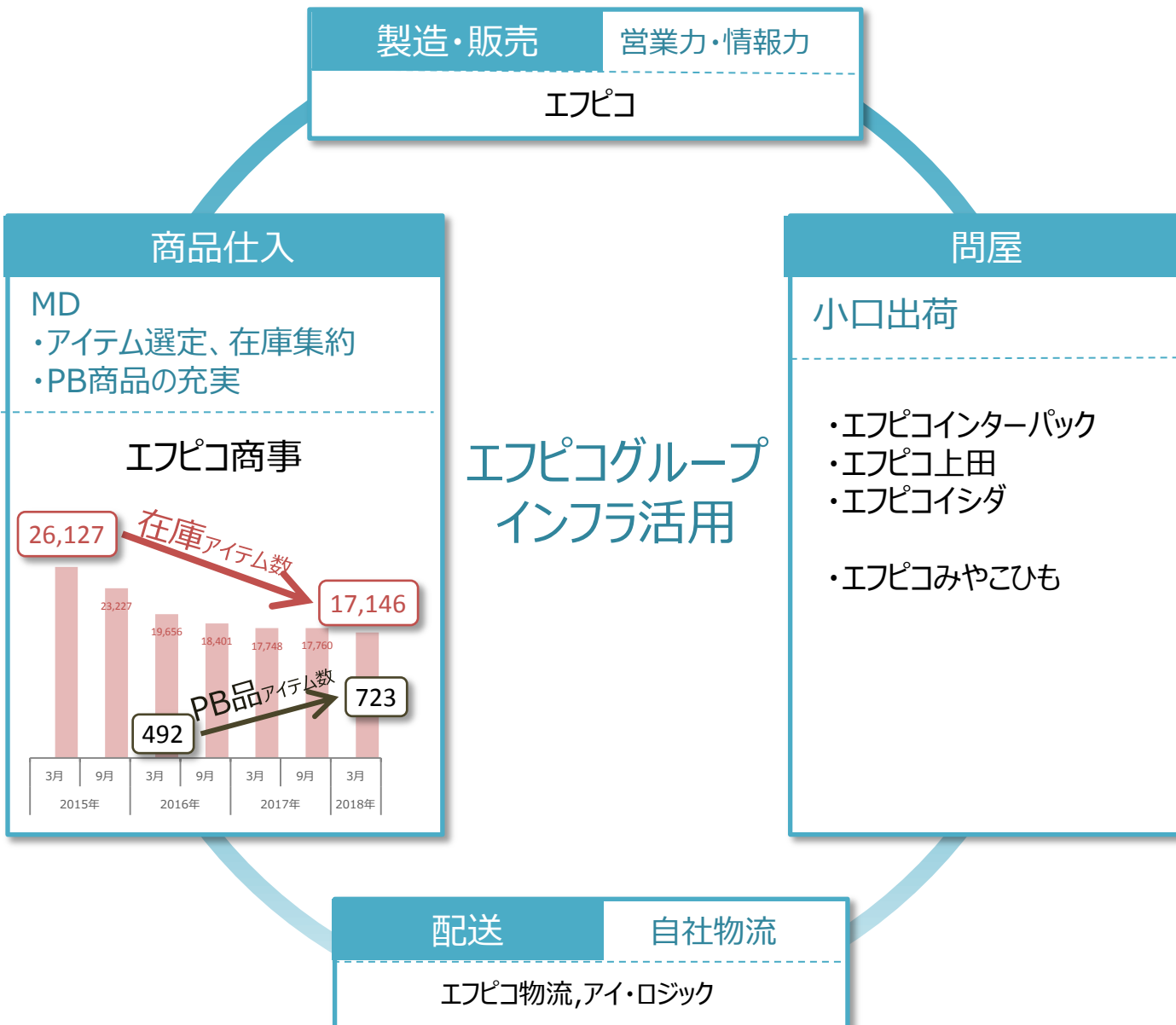
2018年10月 竣工予定  
所在地： 広島県広島市  
投資額： 14 億  
延床面積： 3階建1,670坪

## エピコインターパック(株)本社

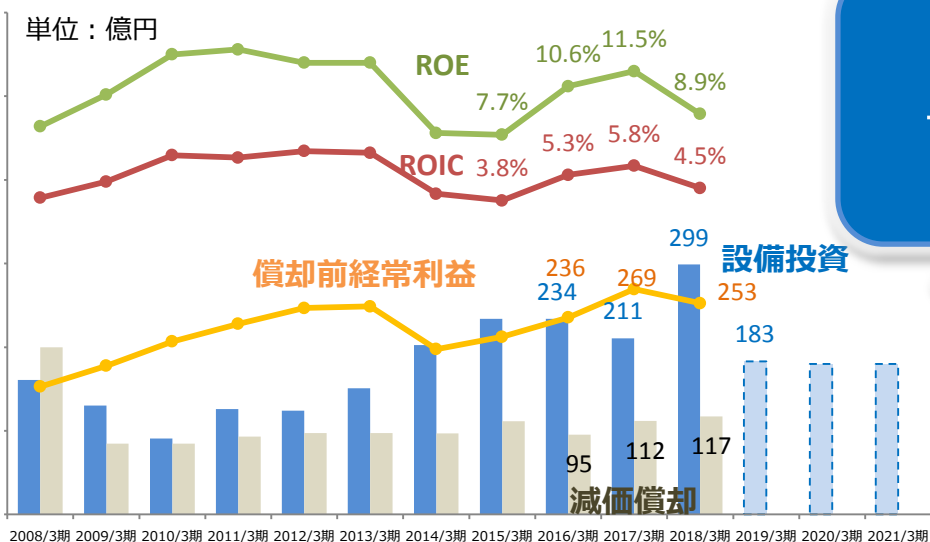
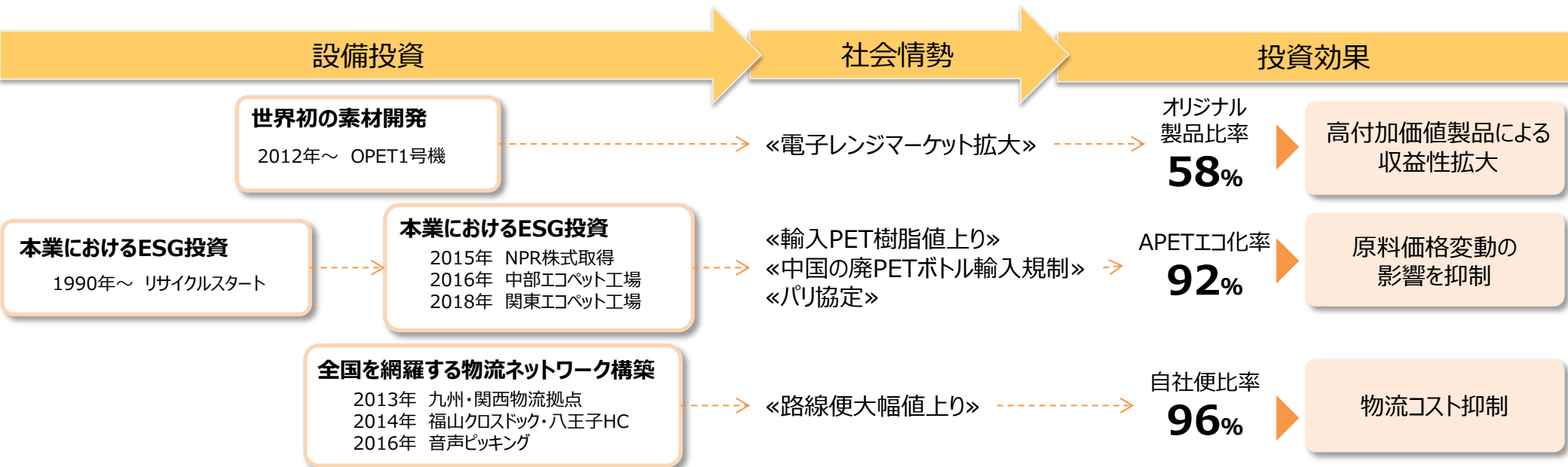


2019年2月 竣工予定  
所在地： 千葉県千葉市  
投資額： 9 億  
延床面積： 3階建890坪

# 商品売上拡大に向けて



# 戦略投資



今後の設備投資  
マーケットを創出する新素材開発



# 成長戦略

海外 検討

M&A 検討

長期計画  
売上 **3,000億**  
経常利益 **300億**

成長戦略②

宅配マーケット  
冷食マーケット  
資材・消耗品マーケット

成長戦略①

電子レンジ対応容器  
人手不足対応容器  
青果容器

中期計画  
経常利益 **200億**

2018/3期  
売上 **1,735億**  
経常利益 **135億**

1962年  
福山パール紙工設立

1981年  
カラートレー上市

1989年  
広島証券取引所上市

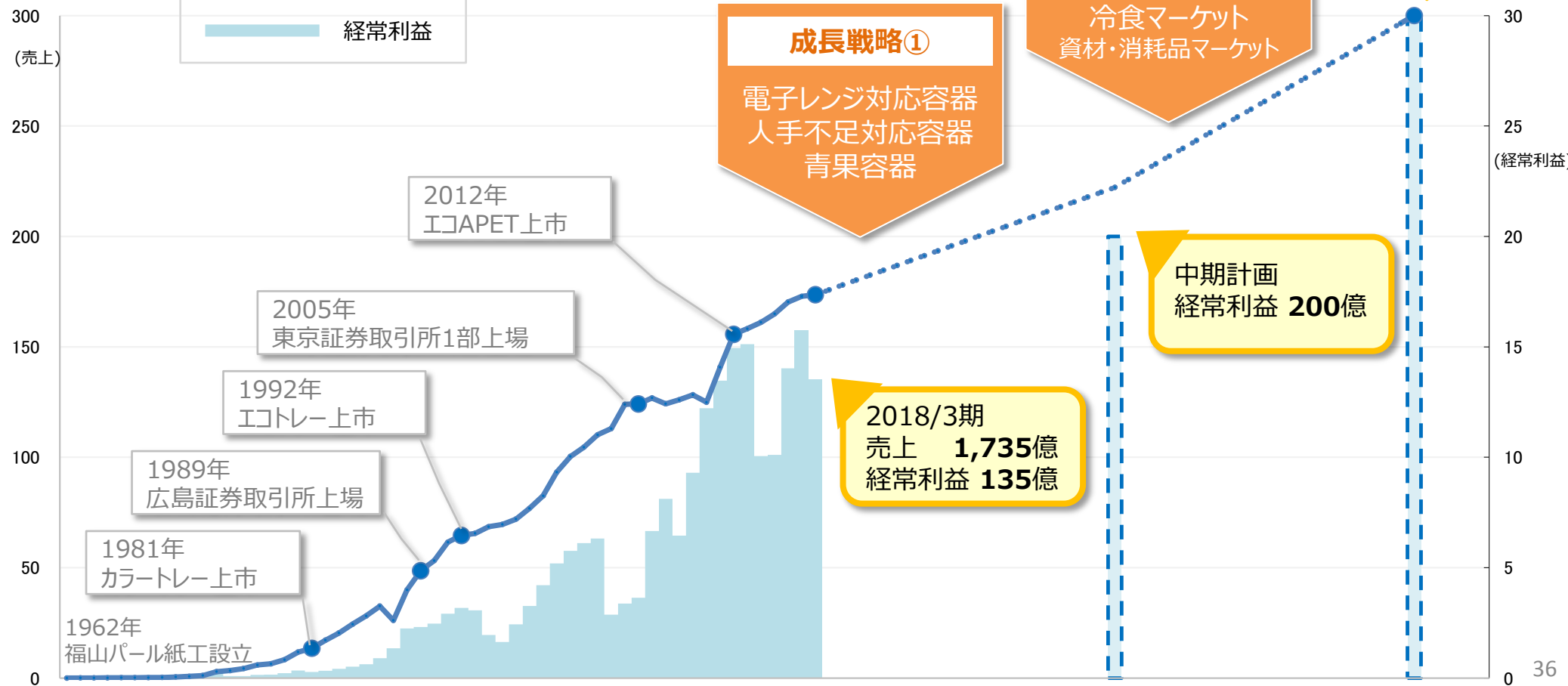
1992年  
エコトレー上市

2005年  
東京証券取引所1部上市

2012年  
エコAPET上市

単位：10億

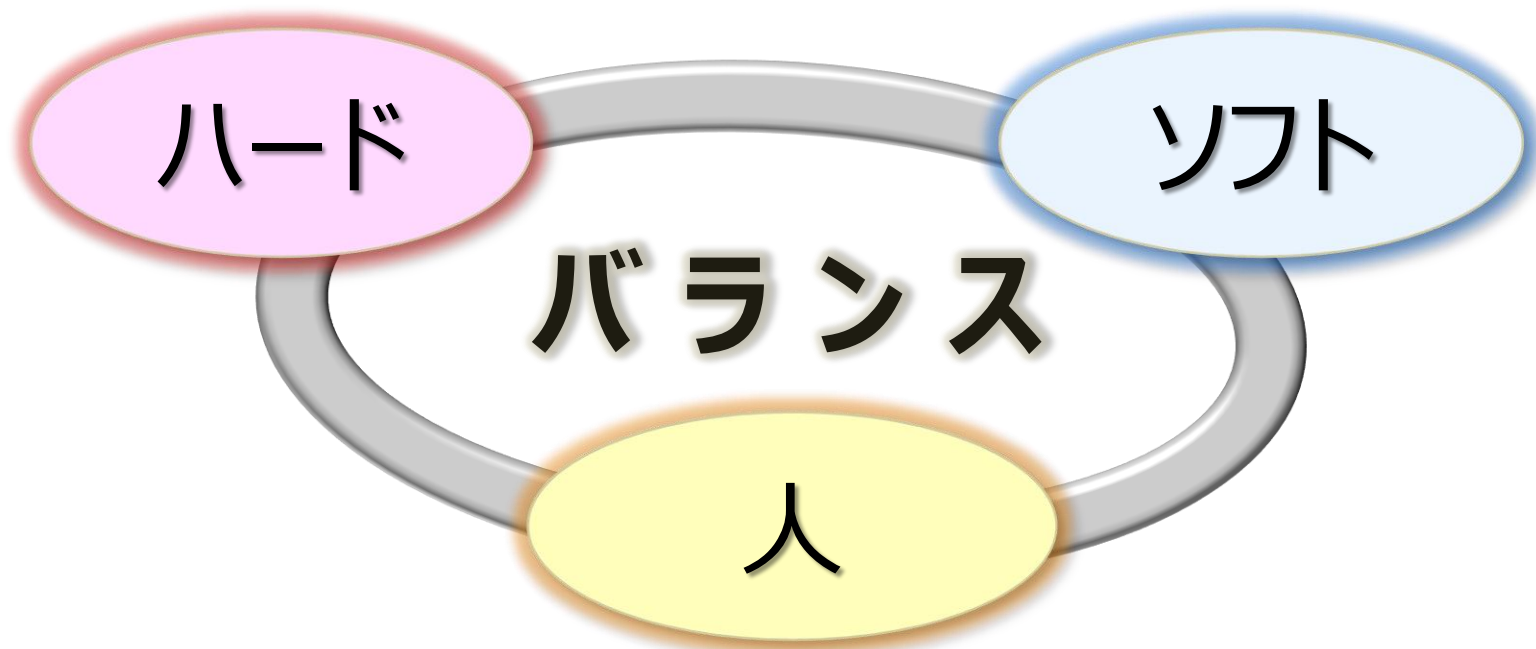
売上  
経常利益





# 企業価値拡大に向けて

「最も高品質な製品を  
競争力のある価格で  
必要な時に確実にお届けする」



FPCO-DNAを継承し、「現場主義」・「顧客第一主義」のもと  
一步先を見通した提案をし続けます

# 添付資料

---

# 用語解説

PS : ポリスチレン

PET : ポリエチレンテレフタレート

PP : ポリプロピレン

マルチFP(MFP)容器 : -40℃~+110℃の耐寒・耐熱性をそなえ、耐油・耐酸性及び断熱性に優れた発泡PS容器

マルチソリッド(MSD)容器 : マルチFPの端材を活用し、その特性を維持しつつシャープな形状を実現した非発泡PS容器  
耐熱温度+110℃

OPET透明容器 : 二軸延伸PETシートから成形した、耐油・耐酸性に優れ、透明度も高く、OPSと同等の耐熱性を実現したPET透明容器 耐熱温度+80℃

新透明PP容器 : 標準グレードのPP原料から、OPSと同程度の透明度を実現した透明PP容器 耐熱温度+110℃

PPSAシリーズ : 嵌合フードパックタイプの新透明PP容器 耐熱温度+110℃

OPS透明容器 : 従来からの二軸延伸PSシートから成形した透明容器 耐熱温度+80℃

エコトレー : スーパーで店頭回収されたPS容器と工場内端材を原料とするリサイクル発泡PS容器 (1992年販売開始)

エコAPET : スーパーで店頭回収されたPET透明容器・PETボトル及び工場内端材を原料とするリサイクルPET透明容器  
(2012年販売開始)

フードパック : スーパーの揚げ物バイキングコーナーなどで使用される、蓋(フード)と本体が一体となった汎用透明容器

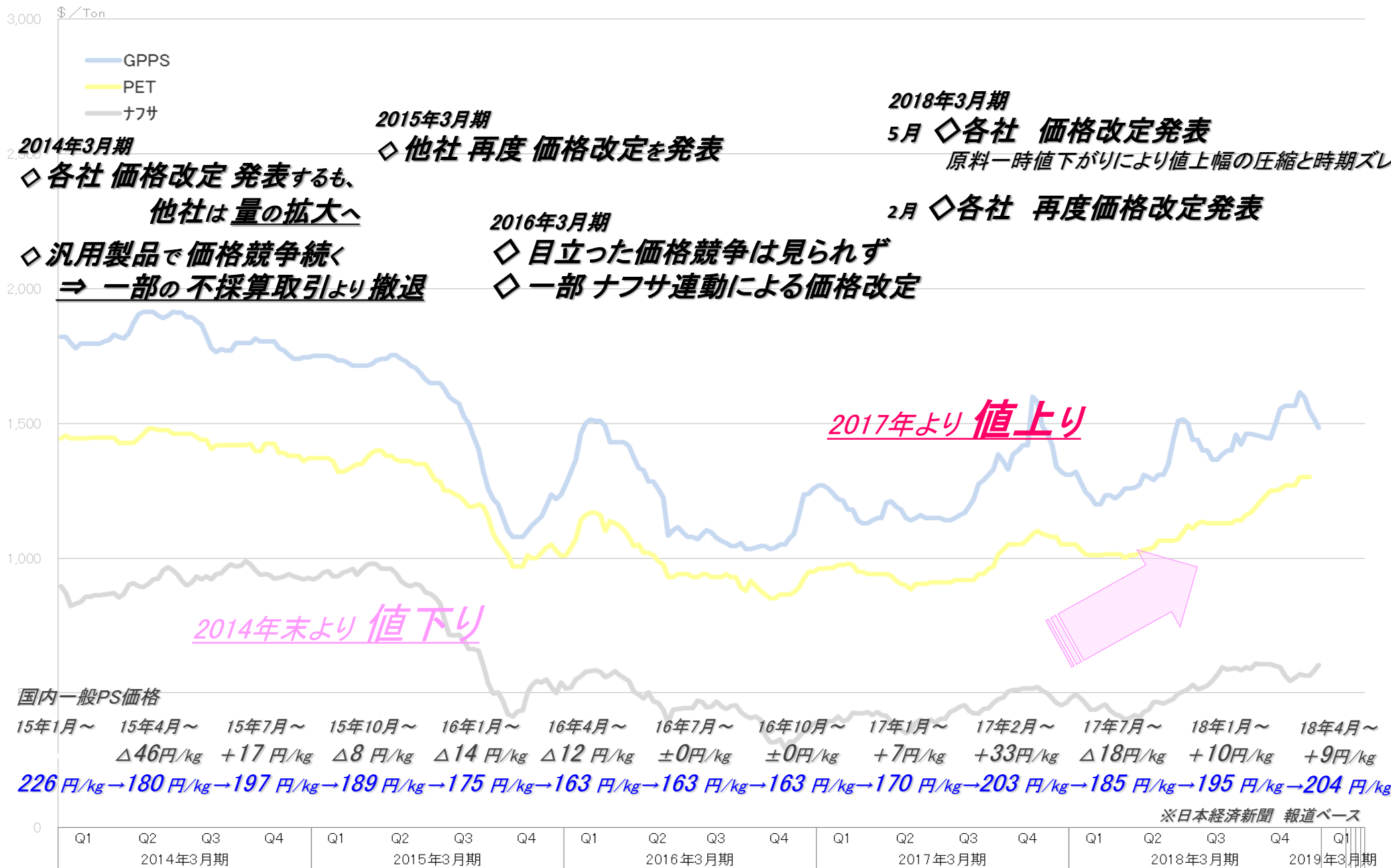
クロスドックセンター : お客様にお届けする製品を、個別の配送トラックが在庫倉庫を廻って積込むミルクラン方式にかわり、全ての出荷製品を一カ所に集め、配送ルート毎に自動ソーターで仕分けの後、配達順に積込むクロスドック方式を実現する配送センター

配送センター : 製品をケース単位で出荷

ピッキングセンター : 製品及び商品を小分けピッキングし出荷

選別センター : 店頭回収したPS容器を白と色に、店頭回収した透明容器をPS・PET・PP等の素材に、それぞれ選別

# 原材料動向



2014年3月期  
◇各社 価格改定 発表するも、  
他社は 量の拡大へ

◇汎用製品で価格競争続く  
⇒ 一部の不採算取引より撤退

2015年3月期  
◇他社 再度 価格改定を 発表

2016年3月期  
◇目立った価格競争は見られず  
◇一部 ナフサ連動による価格改定

2018年3月期  
5月 ◇各社 価格改定発表  
原料一時値下がりにより値上幅の圧縮と時期ズレ

2月 ◇各社 再度価格改定発表

2017年より 値上り

2014年末より 値下り

# 世界初の素材・シート シート加工メーカーからの脱却

PP:ポリプロピレン

- ★ 耐熱性がある: +110°C
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 発泡が難しく、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出難い



## 新透明PP

- ★ 耐熱性がある: +110°C
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 透明性がOPSと同等

PS:ポリスチレン



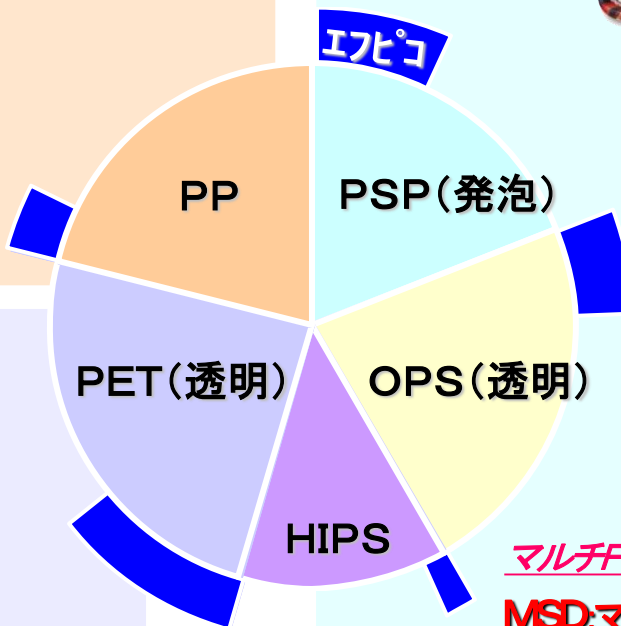
PSP:発泡PS

- ★ 成形性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 軽量化が可能
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い: +70°C
- ★ 耐油性に劣る



## MFP:マルチFP :発泡PS

- ★ 成形性が良い
- ★ 原材料比率が低い
- ★ 断熱性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 幅広い温度帯をカバー  
-40°C ~ +110°C
- ★ コシ強度がある
- ★ 軽量化が可能



PET:ポリエチレンテレフタレート

- ★ 最後発 樹脂
- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い: +60°C
- ★ 比重が大きい

## OPET:二軸延伸PET

- ★ 透明性が高い
- ★ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性がOPSと同等: +80°C
- ★ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成形が難しい



マルチFP端材の循環

MSD:マルチリド

:非発泡PS

OPS:二軸延伸PS

- ★ 透明性がある
- ★ 耐熱性: +80°C
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界

※ 中央円グラフ;素材別 シェア (重量ベース)

# オリジナル製品の生産能力増強

2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年

2010年2月 マルチFP (MFP) 製品 上市



2012年2月 マルチソリッド (MSD) 製品 上市



2012年5月 エコAPET 製品 上市



2010年11月

中部PETリサイクル工場

2014年6月

西日本ペットボトルリサイクル

2016年3月

中部エコペット工場

2017年8月

関東エコペット工場

2012年11月 OPET 製品 上市



2012年7月

関東八千代工場

2012年6月 新透明PP製品 上市



# 經常利益 増減要因 推移

単位:億円

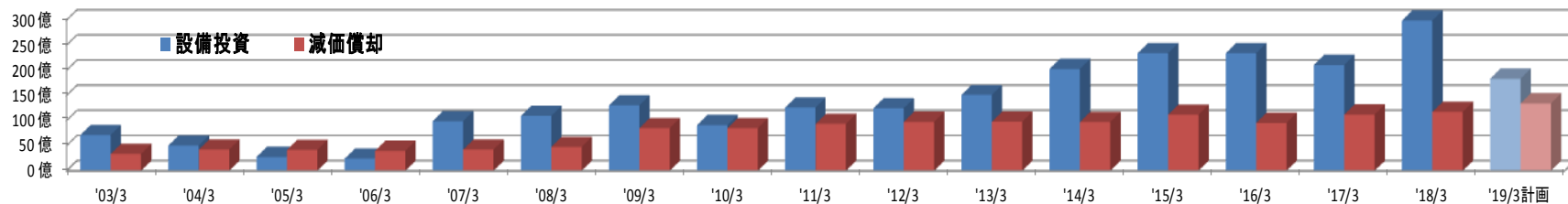
	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3			'13/3			'14/3			'15/3			'16/3			'17/3			'18/3			'19/3 計画				
										上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期	上	下	通期		
前期 經常利益	63.1	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	64.5	92.9	122.2	68.3	66.4	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2	51.1	49.4	100.5	47.4	53.6	101.1	66.3	74.0	140.3	79.1	78.4	157.4	66.3	69.2	135.5		
原料値上り影響	-6.0	-13.8	-36.5	-10.0	-13.0	-39.5	-37.0	-25.0																											
							原料値下り	+78.0																											
							原料再値上り	-19.0	-23.0	-19.0	-18.0	-37.0	-3.0	-12.5	-15.5	-18.0	-28.0	-46.0	-7.0	-	-7.0														
製品値上げ	-25.0	+7.7	+29.2		+4.0	+9.0	+38.0	+25.0		+10.0	+22.0	+32.0	+6.5	-	+6.5																				
							第1次 製品値下げ	-44.0																											
							第2次 製品値下げ	-19.0																											
素材切替・軽量化			+2.0	+8.0	+8.6	+11.8	+24.5	+20.0																											
販売増・Mix改善		+45.0		+17.5	+5.8	+3.0	+7.0	+6.0	+21.5	+7.0	+8.0	+15.0	+9.0	+12.0	+21.0	+1.0	-	+1.0	-	+4.0	+4.0														
生産改善	+2.4	-0.6	-2.0	+6.0	+8.7	+3.0	+2.5	+9.5	+12.0	+5.5	+3.5	+9.0	+1.0	+1.5	+2.5	+1.0	-	+1.0	+0.5	+3.5	+4.0	+5.0	+7.0	+12.0	+3.2	+1.1	+4.3	-3.2	-4.0	-7.2	-1.0	-1.0	-2.0		
物流改善	+0.3	-14.0	+12.2	+5.5	+8.0	+5.7	+5.0	+9.5	+8.0	+2.0	+2.0	+4.0	+1.0	+0.5	+1.5	+1.0	-	+1.0	-	-1.0	-1.0	-	+1.5	+1.5	-3.0	-2.7	-5.7	+0.5	+1.0	+1.5	-1.0	-	-1.0		
グループ会社利益改善								+5.0	+5.5	+3.0	+2.0	+5.0	+0.5	+0.5	+1.0	-	-1.0	-1.0	-	-1.5	-1.5	+3.0	+2.5	+5.5	+2.0	+3.0	+5.0	-	+1.5	+1.5	+0.5	+0.5	+1.0		
美術品売却益			+1.0	-1.0			+4.0	-4.0																											
経費増加	-6.2	-19.3	-3.2	+4.2	-7.4	-9.7	-15.6	-12.7	-11.5	-7.6	-5.6	-13.2	-8.9	-6.4	-15.3	-10.0	-7.0	-17.0	-11.6	-10.4	-22.0	-9.2	-8.4	-17.6	-3.7	-2.4	-6.1	-3.1	-2.3	-5.4	-3.3	-4.2	-7.5		
増減計	-34.5	+5.0	+2.7	+30.2	+14.7	-16.7	+28.4	+29.3	+12.5	+0.9	+13.9	+14.8	+6.1	-4.4	+1.7	-24.0	-27.0	-51.0	-3.7	+4.2	+0.5	+18.9	+20.3	+39.2	+12.8	+4.3	+17.1	-12.8	-9.1	-21.9	-0.3	+12.8	+12.5		
当期 經常利益	28.6	33.6	36.3	66.5	81.2	64.5	92.9	122.3	134.7	69.2	80.3	149.5	75.3	75.9	151.2	51.1	49.4	100.5	47.4	53.6	101.1	66.3	74.0	140.3	79.1	78.4	157.4	66.3	69.2	135.5	66.0	82.0	148.0		

# 設備投資 推移

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期	'14年3月期	'15年3月期	'16年3月期	'17年3月期	'18年3月期	'19年3月期 計画	
生産	山形工場				下館第二工場			大洋興業 日本ハール容器 ウツド工場	ダイヤフーズ フードパック設備 アルライト				「エフピコ総合研究所」 開発・研修棟					
物流	東日本ハブC 九州HC 関西HC				関東八千代C				新福山PC			九州物流拠点 関西物流拠点		音声ピッキング				
リサイクル					中部・東北・九州リサイクル工場			容器選別センター全国展開 洗浄ライン 設備刷新 中部リサイクル工場										
その他					東海HC建物	本社事務所	福山地区土地・建物	ユカ商事				九州物流拠点土地 関西物流拠点土地	八王子拠点土地	みやこひも				

単位:百万円

	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3計画
設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	15,087	20,258	23,377	23,383	21,060	29,891	18,300
有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	12,093	14,783	19,751	23,051	23,058	20,790	29,342	17,950
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	329	303	506	325	324	269	549	350
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,946	1,425	2,151	2,416	1,777	2,028	1,485	2,210
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	9,746	9,703	11,136	9,526	11,183	11,706	13,400
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,062	1,148	1,105	1,242	1,223	1,197	1,220



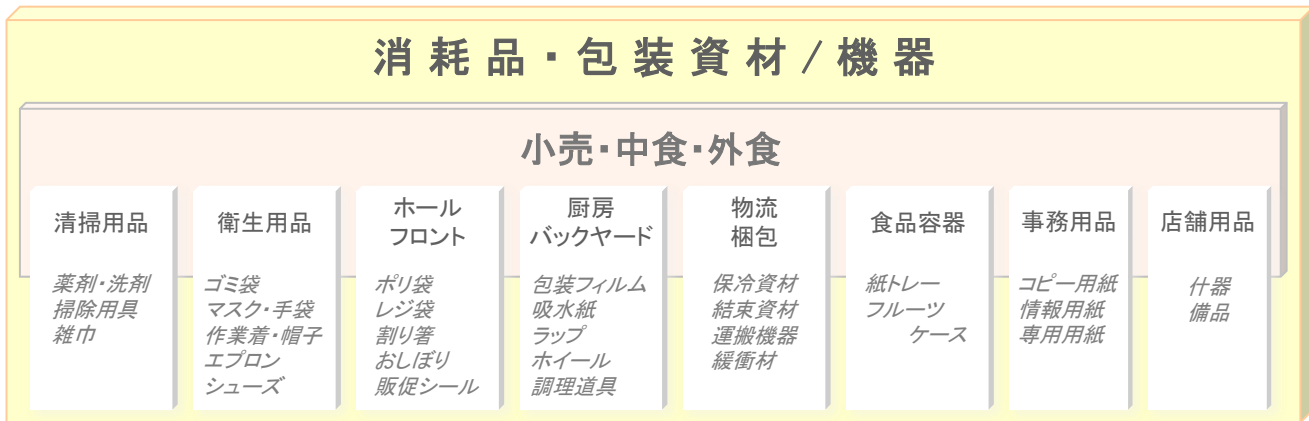
>> '09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。



# マーケットへの取組

**製品** 市場規模: **5千億円**

**商品** 市場規模: **2.5兆円**



得意分野での  
優位性 確立

新規分野の攻略

問屋 サポート

事業提携・M&A

世界初の素材・機能

エフピコ物流・アイロジック

## エフピコ グループ

製品・素材力 提案力 調達力 物流力 SCM 環境経営 社会責任 インフラ

**エフピコ商事**

包装資材・消耗品 メーカー

# 【施設見学のご案内】

随時受付: 経営企画室 03-5325-7756

最新鋭の 生産 ~ 物流 ~ リサイクル をご覧いただけます。

## 関東

JR東日本 古河駅 ~ 30分



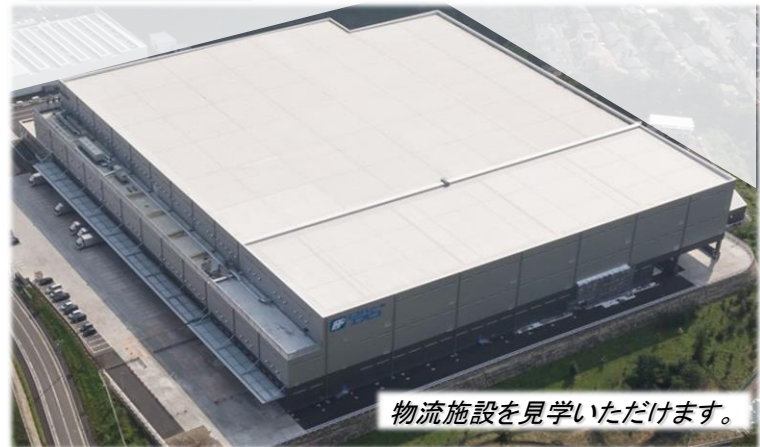
## OPET生産設備



エコペット工場  
2017年8月完成

## 八王子

JR東日本 秋川駅 ~ 20分



## 福山

JR西日本 福山駅 ~ 30分



## 中部

JR東海 岐阜羽島駅 ~ 20分



PET効率的リサイクルプラント×2